

2022 年度第 3 回 10 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「②（①の説明として）」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

第1問 (20点)

設問A

(1) 1点 海嶺／中央海嶺

(2) 3点

火山灰が偏西風に乗ってヨーロッパ方面へ飛散し、ケニアの切り花の主要な空輸先であるヨーロッパの航空交通網が麻痺したため。(2行)

【加点ポイント】

① (ケニアの切り花の輸送先と輸送手段)

「ヨーロッパ／欧州」に「空輸／航空機で運ぶ／ハブ空港（ドバイ空港）を經由して」 →1点

② (火山の噴火の影響) ヨーロッパの航空交通網が麻痺した (飛行機が飛べなくなった)

／ヨーロッパの空港が使用できなくなった →1点

③ (②の要因) 偏西風による火山灰の飛散 →1点

(3) 3点 ※ [指定語句] 山岳氷河 モレーン 2つ全て 下線付きで使用

地球温暖化で山岳氷河の氷が融け、氷河湖に変化している。その湖水をせき止めるモレーンが決壊すると、麓に洪水が押し寄せる。(2行)

【加点ポイント】

① (氷河湖増加の理由) 山岳氷河の氷が融 (解／溶) けた →1点

② (①による自然災害) 洪水／水害／土石流 →1点

③ (②の要因) 湖水をせき止めるモレーンが決壊／モレーンによるダムから水があふれる

／モレーンによりせき止められていた水があふれる →1点

(4) 3点

ミシシッピ川流域の広大な平原であり、東西方向に連なる山脈が無く、北極からの寒気とカリブ海からの暖気が衝突しやすいため。(2行)

【加点ポイント】

- ① (地形の特徴) 広大な平原／平野が広がる →1点
- ② (地形の特徴) 東西方向に連なる山脈が無い →1点
- ② (①により) 北(北極)からの寒気と南(カリブ海／赤道)からの暖気が衝突しやすい →1点

設問B

(1) 1点 天井川

(2) 3点

山地から平野に出て河川の流速が減る場所であるため堤防内に土砂が堆積しやすく、堤防を高くするにつれ河床も高くなっていく。(2行)

【加点ポイント】

- ① (天井川が形成されやすい理由) 堤防内に土砂が堆積しやすい／河床に土砂が堆積しやすい →1点
- ② (①の要因) 山地から平野に出て河川の流速が減る／河床勾配が緩やかになる場所である →1点
- ③ (形成過程) 堤防(人工堤防)を高くすると河床も高くなる →1点
→(※「自然堤防」では加点しない)

(3) 3点

生活用水を得やすい扇端の湧水帯にある。また、谷口のXより土石流に遭いにくく、Yより高位にあるため洪水時に浸水しにくい。(2行)

【加点ポイント】

- ① (地形として)
「扇端」であり「湧水帯である／伏流していた河川が湧水する／地下水が湧き出る」 →1点
- ② (防災面の有利性) Xより 土石流／鉄砲水／土砂災害 に遭いにくい →1点
- ③ (防災面の有利性) Yより 洪水時に浸水しにくい／洪水の被害を受けにくい →1点

(4) 3点

リアス海岸の湾奥は狭く浅いので津波が高まりやすいうえ、当時は遠方の地震が津波をもたらすという認識に欠け、予報も遅れた。

【加点ポイント】

- ① (自然的要因) リアス海岸である／鋸歯状の海岸である／狭い入り江(湾)が多い →1点
- ② (①により) 津波が高まりやすい／津波が陸地の奥まで届く →1点
- ③ (社会的要因) 遠方の地震が津波をもたらすという認識が無かった
／湾奥の陸地には津波は来ないと思う人が多かった
／津波の危険性の周知が足りなかった
／津波の避難訓練が不十分であった／津波警報の発令が遅れた
／当時は堤防の設備が十分に整備されていなかった →1点

第2問 (20点)

設問A

(1) 2点 (各1点×2)

A－コバルト B－鉄鉱石

(2) 2点

火力発電の燃料や、製鉄で用いるコークスとして利用される。(1行)

【加点ポイント】

① 火力発電／発電用燃料 →1点

② 製鉄 →1点

(3) 3点

石炭は発熱量当たりの二酸化炭素排出量が多く、その利用は地球温暖化を促進するため、主要国は使用量の削減を進めている。(2行)

【加点ポイント】

① (消費量停滞の理由) 温暖化への対策／利用が地球温暖化を促進する

／エネルギー転換によって熱効率の良い石油・天然ガスの需要が高まった

→1点

② (①の背景) 石炭は発熱量当たりの二酸化炭素排出量が多い

／石炭は天然ガスや石油に比べ二酸化炭素排出量が多い

／石炭は化石燃料の中で最も多くの二酸化炭素を排出する →2点

(※「石炭は二酸化炭素排出量が多い」のみ →1点)

(4) 4点

電子機器、蓄電池など先端技術産業に不可欠な素材だが、武装勢力の資金源となり新たな紛争を招く、輸出規制が外交手段に利用される、採掘や精錬に伴い有害廃棄物が排出されるなど課題が多い。(3行)

【加点ポイント】

① (用途の特徴) 電子機器に利用／蓄電池に利用／先端技術産業に不可欠

半導体に利用／精密機器に利用／ICに利用 →1点

② (政治・社会面の問題) ・武装勢力の資金源となる／内戦(政情不安)を長引かせる →1点

・輸出規制が外交手段に利用される

／国際関係の悪化により安定供給が難しくなる →1点

③ (環境面の問題) 採掘(開発／精錬)時に有害廃棄物が排出される

／放射性物質への対処が不十分で環境破壊につながる →1点

設問B

(1) 3点 (各1点×3)

イ-ドイツ ウ-アメリカ合衆国 エ-日本 (※「ア」「オ」の解答は不問とする)

※(2)(3)共通 語群 (各問 2つ以上 下線付きで使用)

関連工場	競争力	組立	自動運転	仕様
政策	脱炭素	部品	輸送費	労働力

(2) 3点 ※ 上記語群から 2つ以上 下線付きで使用する (1つ以下の使用は -1点)

多くの部品を組立てる自動車工業は、部品の輸送費低減や共同開発、柔軟な受注対応のために関連工場が集積する場所に立地する。(2行)

【加点ポイント】

- ① (生産方法) 多くの部品を組立てる／総合組立産業である →1点
- ② (立地特性) 関連工場が集積する／組立工場の近隣に部品工場が立地する →1点
- ③ (②の背景・利点) 部品の輸送費低減／共同開発に便利／柔軟な受注対応
／最低限の部品在庫 →1点

(3) 3点 ※ 上記語群から 2つ以上 下線付きで使用する (1つ以下の使用は -1点)

温暖化防止対策としての脱炭素化のなか、新技術や製品開発の先駆として仕様の決定力を握り競争力を獲得するため、充電インフラ整備などの政策によってEVの普及を積極的に進めているから。(3行)

【加点ポイント】

- ① (EV普及の背景) 温暖化防止対策／脱炭素化 →1点
 - ② (開発が進む国の目的) ・自動車工業の競争力を獲得する／自動車の輸出台数を伸ばす
 - ・新技術や製品開発の先駆として仕様の決定力を握る
／自動運転や蓄電池などの技術の先駆者となる
／EV開発のパイオニアとして開発競争で優位に立つ
 - ・政策によってEVの普及を進めている
 - ・EVは部品数が少なく効率的な生産が可能
- } 1つ1点
2点まで

第3問 (20点)

設問A

(1) 3点

a - フィリピン b - インドネシア c - スリランカ d - イギリス

(※「e」の解答は不問とする)

※4個正解 →3点 2~3個正解 →2点 1個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 2点

英語話者が多いため、日本における語学教育に従事している。(1行)

【加点ポイント】

★(1)で「a - フィリピン」を正解していることが加点の前提

① (在留者の職種) 語学教育/英語教育 →1点

② (①の背景) 英語話者が多い/母国で英語が公用語である
/母国が以前アメリカ合衆国の統治下にあった →1点

(3) 4点

多数派の仏教徒シンハラ人の政府軍が少数派のヒンドゥー教徒タミル人の組織を武力制圧した後も、後者の前者への不信が強い。(2行)

【加点ポイント】

★(1)で「c - スリランカ」を正解していることが加点の前提

① (対立する民族名) 「シンハラ人/シンハリ人」と「タミル人」 →1点

② (①について) ・シンハラ人は、(多数派で) 仏教徒 →1点
・タミル人は、(少数派で) ヒンドゥー教徒 →1点

③ (対立の背景) タミル人の武装組織がシンハラ人の政府軍に制圧された
/タミル人のシンハラ人への不信が強い
/シンハラ人が優遇されている/シンハラ語だけが公用語であった
/タミル人への差別(弾圧/迫害)が残る →1点

(4) 4 点 ※ [指定語句] 在留期限 農・漁業 留学生 3 つ全て 下線付きで使用
国内の人口減少の下，中小企業や農・漁業などでは人手不足が深刻だが，留学生には就業制限があり，
技能実習には在留期限があるうえトラブルも多く，既存の外国人受入制度が限界を迎えたため。(3 行)

【加点ポイント】

① (資格創設の理由)

- ・国内の人口減少／少子化の進行／高齢化
 - ・農・漁業などで人手不足／中小企業や労働条件の悪い職種で労働者不足
 - ・留学生には就業制限がある／留学生には就業時間の上限がある
 - ・技能実習生には在留期限がある／技能実習生は仕事を覚えたころ帰国する
 - ・技能実習制度ではトラブルが多い／技能実習制度では人権侵害の事例が見られる
 - ・既存の外国人受入制度が限界を迎えた
 - ・技能実習生の在留期限を越えた不法滞在が見られる／留学生の不法就労が見られる
- } 1 つ 1 点
} 4 点まで

設問B

(1) 2点

第二次世界大戦後に米軍の施政下に置かれ、のちに返還された。

【加点ポイント】

- ① (第二次世界大戦後に) 米軍の施政下に置かれた／アメリカ合衆国に統治された →1点
- ② (その後) 返還された／日本に復帰した／日本の領土となった →1点

(2) 2点

ICTを活用した遠隔診療を行い、検体や処方薬などをドローンの利用により迅速に輸送するなど、離島の医療環境を高度化する。(2行)

【加点ポイント】

- ① (医療分野の内容)・遠隔診療／オンライン診療／電子カルテ／電子聴診器／遠隔モニタリング→1点
- ・ドローンによる輸送／自動運転車両による輸送 →1点

(3) 3点

領域を巡る周辺国との関係悪化と離島の人口減少を背景に、領海などの管理拠点として重要な有人国境離島の無人化を防ぐため、地域社会や雇用などの居住環境の維持・継続を図る必要が高まった。(3行)

【加点ポイント】

① (法律制定の背景・目的)

- ・近隣国との領域を巡る対立が増えた
- ・(例として) 韓国との竹島問題／中国との尖閣諸島問題／対馬の土地買収問題
- ・領海や排他的経済水域を保全する／領海の管理拠点とする
- ・有人国境離島の無人化(人口減少)を防ぐ／有人国境離島で人口減少が進行している
- ・有人国境離島の居住環境を維持(継続・改善)／有人国境離島の定住化の推進

} 1つ1点
3点まで